

2026年10月20日

各 位

会 社 名 ア ル イ ン コ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長
兼 社長執行役員 小林 宣夫
(コード番号 5933 東証プライム)
問合せ先 経理本部 IR 室 伊藤 聡
(電 話 番 号 06-6530-0168)

足場の積算業務をAIで効率化する「(仮称) AI積算」の基本設計・開発完了のお知らせ

当社は、株式会社KK Generation（以下「㈱KKG」）と共同開発中の、足場の積算業務効率化を目的とした「(仮称) AI積算」の基本設計・開発を完了しましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後、当社及び㈱KKGは実際の業務環境での検証を進め、2027年春頃の市場投入を目指します。



記

1. 背景

足場計画における仮設資材の数量積算は、建物の形状・規模、仮設資材の種類・設置条件などを確認して行うため、専門的な知識と経験が求められます。また、案件ごとに、図面確認、足場計画の立案、仮設資材の数量の拾い出し、データ入力、積算結果と積算範囲の照合まで、多くの作業が発生するうえ、積算ミスによる修正・作業の手戻りが生じることも少なくありません。

当社は、これまで足場設計・積算業務を通じて蓄積してきた専門知識をもとに仮設資材の数量積算ロジックのデジタル化に取り組んできましたが、今回、㈱KKGの保有するAI・図面処理技術と組み合わせることにより、積算業務の効率化を図り、作業者の負荷を軽減するとともに、ヒューマンエラーの削減、積算業務品質の平準化を実現します。

2. 概要

本取り組みは、PDF 図面を起点に①システムに図面データを投入（STEP01）、②AIが図面情報を解析して躯体形状を認識（STEP02）、③足場計画を自動生成（STEP03）、④仮設資材を自動積算し出力する（STEP04）ものであり、人手を介することなくシステム内で積算業務が完結することにより、積算業務の大幅な効率化と作業者の負荷の軽減を実現する新たな仕組みを構築しようとするものです。

「(仮称)AI積算」による業務フロー改革(比較図)

従来の積算業務の流れ・・・PDF図面起点の手拾いによる積算

作業主体:作業者



課題: 高度な専門知識への依存／案件ごとの膨大な作業工数／転記・拾い出しミスに伴う手戻り



PDF図面から仮設資材の自動積算・データ出力までをシームレスにシステム化

今回目指す業務フロー・・・PDF図面から積算まで自動化

作業主体:AI + 積算システム



効果: 人手を介さずシステム内で一貫処理／積算時間の大幅短縮／ヒューマンエラー削減と平準化

※本図は開発中の機能・処理を説明するためのイメージ図です。市場投入時に一部変更となる場合があります。

3. 主な特徴

①足場設計の専門ノウハウにAIを活用

AI技術と実際の足場設計・積算業務で蓄積した専門知識や数量算出ロジックを組み合わせ、「積算業務に特化したAI」として活用します。

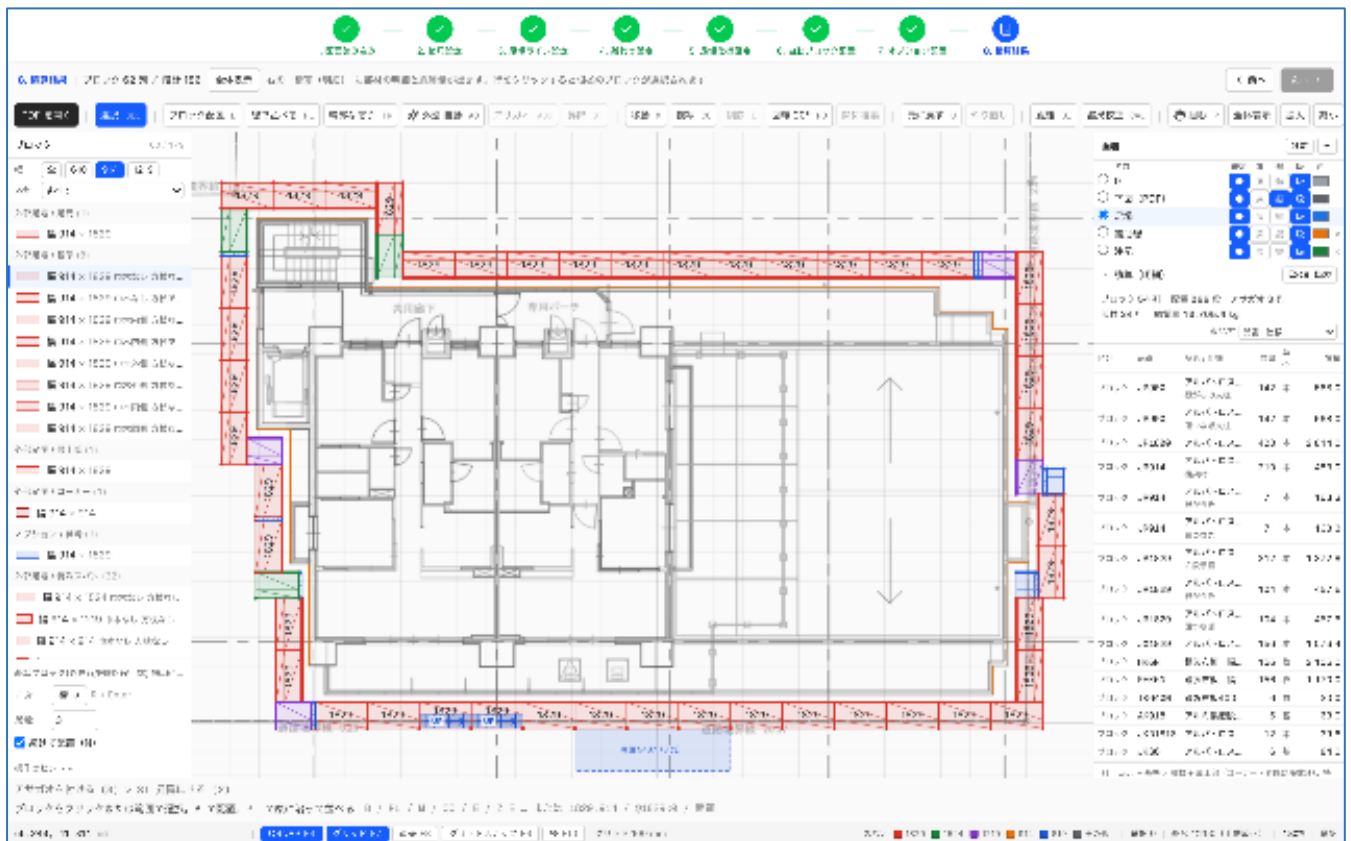
②PDF図面を起点とした積算業務の効率化

従来は人手で行っていた図面確認を、AIによる図面情報解析を通じて躯体形状を自動認識させることにより、積算にかかる作業時間を大幅に削減します。

③認識した躯体形状に対し、仮想ブロックを用いて自動積算

AIが認識した躯体形状に対し、平面上で足場の仮想ブロックを割り付け、足場計画に必要な仮設資材の数量を自動積算します。

【仮想ブロックの割付と数量の自動積算（出力イメージ）】



当社と㈱KKGは、今後も足場設計・積算に関する専門知識とAI・図面処理技術を組み合わせ、建設業界におけるAI・BIM*活用の推進と、業務の効率化・作業者の負荷軽減に取り組んでまいります。

＊BIMとは

Building Information Modelingのこと。建築物や土木構造物のライフサイクルにおいてそのデータを構築管理するための工程である。典型的には、3次元のリアルタイムでダイナミックなモデリングソフトウェアを使用して建築物及び土木構造物の設計、建設及び維持管理の生産性を向上させる。この工程でBIMデータを作成し、そこには形状、空間関係、地理情報、建物部材の数量や製品エネルギー消費量など特性が含まれる。

【株式会社KK Generationについて】

社名	株式会社KK Generation
所在地	東京都港区高輪2丁目21-2 THE LINK PILLAR 1 SOUTH 9F
代表者	代表取締役 藤田 浩之介
事業内容	日本の建設図面に特化したAIプラットフォームの提供
設立	2023年 5 月
H P	https://kk-generation.com/

以上